



■ 栃木県出身 理工学部 4年

次世代の医療診断を可能とする  
世界初の分析装置を実現するための  
研究に専念しています。

### Q 維持会奨学生として思うことは？

歴史と伝統のある慶應義塾維持会の奨学生として採用していただいたことを大変嬉しく思います。経済面だけでなく、精神的な面でも心の支えとして、安心して大学生活を送ることができることに心から感謝しています。将来は、慶應義塾で学んだことを活かすことで社会に貢献し、また、義塾の発展にも貢献したいと考えています。

### Q 一番興味のある授業は？

物理情報工学実験です。私の所属する物理情報工学科では、学部3年生までのカリキュラムとして、力学、電磁気学、量子力学、熱統計力学などといった非常に幅広い理工学全般の分野を学びます。物理情報工学実験では、そのような様々な分野の演習・実習を通して、より実践的な力を身に付けます。ここで得た知識や知恵は、学部4年生からの研究を行う上では絶対に欠かせません。実際に手を動かして実験し、実験結果を定性的かつ定量的に理解するという行為は、非常に勉強になりました。

### Q 慶應義塾の良いところは？

専門分野だけでなく多様な分野を学べることだと思います。特に学部を越えた総合教育科目はとても役に立ちます。他学部の友人に相談して解決した研究上の困難もありました。研究を進めていく中で、一つの専門知識だけでは解決できない問題は多々ありますが、そのような壁に直面したとき、多面的に物事を考えられるのは、慶應義塾での幅広い学びのおかげです。

### Q 今後、学生生活でチャレンジしたいことは？

研究に精一杯取り組みたいです。私が取り組んでいる研究は、全く新しい原理による世界初の分析装置を実現するものであり、これを世界に先駆けて開発できれば、多くの知的財産を形成できるほか、次世代の医療診断としてがんの診断等への応用が期待されるなど、社会へ大いに貢献することができます。教科書を見れば答えが載っているというような学部3年生までとは違って、答えがない中で自分自身の思考力を頼りに研究していく必要があります。これまでに積み重ねてきた知識や知恵を土台に、自ら考え続けることで、少しずつ新たな道を拓いていこうと思います。

### ◎ 卒業後の進路、将来の夢は？

大学院に進学し、修士課程・博士課程を経て、博士号を取得したいと考えています。研究成果を国内外で発表し、世界に広く名を知られるような業績を残し、社会に貢献したいです。この実現のためにも、日々考え続ける姿勢を忘れず、全力で研究に向き合っていこうと思います。